市民の声を市政に

30人学級の実施を

大澤ミツ子

問　欧米等では30人以下の少人数学級が当たり前で、国内でも多くの自治体で少人数学級に踏み出しているが、深谷市でも実施する考えは。

答　現在実施の少人数指導の成果を踏まえ、少人数指導の継続を原則に国・県の動向を注視しつつ学級編成・指導方法の工夫をし、様々な角度から研究を重ねてまいります。

学校に扇風機の設置を

問　暑さ対策で市内小中学校の教室に扇風機設置の考えは。

答　市内453教室に扇風機を整備すると約7千万円の新たな財政負担が生じることになり計画はしていません。

通知表の愛国心評価問題

問　県教育局が通知表の愛国心について評価している小学校を調査したところ、9市6町の計66校で実施していた。その中に深谷市もあったが評価項目はどういう内容か。

答　日本の歴史と政治及び国際社会における役割に関心を持ち調査し、国を愛する心情を持つと共に、平和を願う日本人としての自覚を持つというものです。

問　子どもの心情を評価することは適切ではないと考えるが教育長の考えは。

答　学習指導要項の目標にあるので不適切とは考えません。心情は評価できないし、心情面で評価していません。通知表の表記は各学校の裁量で行っていて、教育委員会が踏み込むわけにはいきません。いま通知表の見直しの時期で各学校では、粛々と作業を進めているところです。

深谷TMO事業における新しいまちづくりについて

柴崎重雄

問　中央土地区画整理事業の進捗状況と仮称「にぎわい通り」周辺の事業展開は。

答　平成10年事業開始より仮換地指定率は面積で46・5％となっており、建物移転等の進捗率は約4％です。にぎわい通りにつきましては、建物と調和のとれた景観を配慮しながら進めてまいります。

問　駐車場の現状と市民が安心安全にショッピングできるよう、深谷駅通りのスクランブル信号機の変更ができるのか聞きたい。

答　駐車場は商店街が区画整理事業より130台分借り受けています。スクランブル方式に伴う渋滞を緩和するため、待ち時間の短縮を図ってきたが、今後も歩行者の安全確保を最優先に検討したい。

スクランブル交差点

問　まちづくり3法の見直しは、深谷TMO事業を展開していくうえでどのような影響を及ぼすか。

答　国からの具体的な運用指針は未提示ですが、深谷商工会議所と連携して支援してまいります。

問　空き店舗・空き地対策の成果と今後の課題は。

答　空き店舗にミニシアターや活性化合同サロン一休、めんや一翁、空き地対策にワゴンショップ広場が整備され、市街地活性化に寄与しており、この活性化を商店街に還元させる対策が課題となります。

問　古い建物を活用したまちづくりの検討は。

答　中心市街地には深谷レンガホール、酒蔵跡等の古い建物があります。イベントとして利用実績はありますが、現在、計画はありません。

深谷市のISO取り組みについて

中島　實

問　深谷市ではISO9001、14001共に認証取得していると聞くが、導入の経緯、基本方針及び重点施策、適用範囲、今後の予定はどのようになっているのか。

答　旧深谷市の行財政改革が目指す、市民満足度の向上を図るのに有効と考えISO9001を導入し、公正・公平・公開を基本理念として、質の高いサービスを提供することを方針としています。範囲については、本庁舎・第二庁舎・教育庁舎など51箇所とし、今後の予定としては、平成19年8月を目途に、岡部・川本・花園総合支所に拡大予定です。

　14001については、環境にやさしい住みよい深谷を市政方針に掲げ、環境負荷の少ない事務事業を本格的に進めるために導入しました。地球環境が保全され、市民と自然が共生できる都市づくりを実現することを方針とし、平成17年32箇所、18年110箇所で展開中です。今年は更新審査の年にあたるので、内部審査により、システムの運用状況を確認し備えたい。

一般質問

問　ISOを導入して効果はあったか。また、年一度の審査時の指摘事項はどのようなものがあったか。

答　BCG接種率の向上、図書館の本の貸出率の向上等、計画を上回る成果を得ました。指摘事項については、ゴミの減量化の企画がシステムとして機能していないという指摘があり、マニュアルを改善しました。

資源ゴミ分別の徹底厳守が減量化につながる

宇多村春恵

問　旧市町の収集回数、曜日収集品目の統一はいつ頃どの方向で決定されるのか。

答　今議会に計上された予算により一般廃棄物処理基本計画案を策定し、深谷市廃棄物減量等推進審議会の意見を伺い今年度中に計画、来年度から新市として統一すべく事務を進めております。

問　ゴミ処理は深谷市の単独事業ではなく、大里広域市町村圏組合と共に進める方がより大きな効果があるのでは。

答　そのような声が議員からあったということは伝えます。

問　レジ袋の有料化を国レベルで検討中、マイバッグの推進を。資源ゴミ分別の拡大がゴミ減量化と考えるが。

答　広報、公民館、市の催事で呼びかけます。新市で12品目を予定しております。

学校給食について

問　自校式は旧深谷市、旧川本町、センター式は旧岡部町、旧花園町、老朽化により一本化の考えは。

答　未だ耐用年数があります。

問　残飯が多く農家の人と給食を共にし苦労話を聞くことは効果があるのでは。

答　田植やさつま芋の苗を植えたり実習体験をしています。その人達を給食に招待することもあります。

岡部学校給食センター

団塊の世代の大量退職者について

問　シルバー人材センターの会員の増員や、新たなボランティア活動の場の考えは。

答　決められた日に募集しています。また、ボランティアの情報提供を働きかけます。

企業誘致と花園インターの再開発について

富田　勝

問　企業誘致プロジェクトFを始動させたが、その後の進捗状況は。

答　18年2月に1号が指定されその後3社と調整中です。

問　花園インター周辺の開発及びイオンの進出計画の経過・地域商店等への対応は。

答　国、県との協議や許可が必要なため実現に向け調整中とのことです。動向を見守り適切に対応してまいります。

問　花園インター付近の深谷花園、川本境に数年前に県のテクノグリーン構想で工場団地に指定した区域があるが、県、市の考えは。

答　県の動きはありません。しかし市では現在の企業誘致に適応できるか研究してまいりたいと考えております。

各種団体の補助金について

問　補助金団体は何団体か。

答　合併の調整段階では341団体、合併後の統廃合により変更しております。

問　団体の合併による差額は。

答　スポーツ振興課関係では統廃合等により調整中ですが393万7495円減額の734万円の予定です。

問　スポ少のように単位団が合併していない団体への補助金減額はなぜか。

答　競技種目ごとへの支給と補助方法を変更したためです。

ジャパンフラワーフェスティバル2007について

問　深谷市の対応は。

答　市内の花植木の生産団体と協議して50万円の負担金の中でブースを活用しPRしてまいります。

〈議会あれこれ　こたえ　…男性議員は67人、女性議員は8人です。〉